

大綱米
プロジェクト

田植え

令和4年5月20日

全校生徒で田植えをしました。昨年は、あいにくの雨でしたが、今年は晴れ！気温も上がって田んぼの水が気持ちいいくらいでした。大綱プロジェクトは、毎年2月10日に行われる「刈和野大綱引き」を次の世代に伝え、伝統を絶やさないための取り組みです。春に田植えをし、秋に稲刈り、冬には稲わらで大綱作り、収穫した米は学校行事などで活用する予定です。今日の苗がどのように生長していくのか、今から楽しみです。



苗をそれぞれ手に取った様子は、よっっ、やるぞ！といった顔つき。←↑こちらの写真は3年生。田んぼへは裸足で入ります。足を入れた瞬間

ウワァー！ と声が上がりました。

生ぬるい感じとヌルっとした感じでしょうか。田んぼにつけられた線に沿って、苗を植え付けます。「1カ所にどのくらい苗を取ればいいんだっけ？」「深さはこれくらいかな？」などと、最初は周り確認しながら半信半疑な表情…。



さあ、1列に並んで！
印の線を踏まないように気をつけて！
隙間を空けないように！





田植え Rice planting

屋外での作業で気温も高くなったので、マスクを外す人もいました。久しぶりに顔全体が見えて、笑顔がはじけて楽しそう。授業では見ることのできない表情も見られました。

キラキラ



左右の4人は、秋の収穫後には、大きなおにぎりを美味しくいただくように、想像できます。たくさん食べそうだなあ。

